

新潟県民って、どんな人？

新潟県民100人に聞きました 「新潟の県民性」 編

「新潟コメジルシ総研」設立にあたってのご挨拶



コメジルシくんって？

オス。5歳（人間の年齢で30歳くらい）。新潟のいいところ（米印）を世界に広めていくのが仕事。いつか新潟のコメンテーターになる夢を叶えるために、今日も新潟愛全開で生きていく。

新潟県民が、新潟の魅力を再発見し、発信している「新潟※（コメジルシ）プロジェクト」。

その一環として、新潟県民が考える新潟県の姿を明らかにすべく、この度「新潟コメジルシ総研」を設立しました！

そして、所長に任命されたのがぼく、「コメジルシ」です！

コメジルシ総研では、県民の方々へのアンケートを通じ見えてきた新潟の魅力や特徴、県民性などを定期的に発信していくので、ぜひご注目ください！

調査概要

新潟コメジルシ総研は、新潟県に関する様々な疑問について、新潟県民100人（県外在住の新潟県出身者も含む）を対象にアンケート調査を実施しました。

調査結果は下記のスケジュールにて順次公開予定です。

第1回 「新潟の地域性」 編	「新潟県は何地方？」等	10月18日公開済
第2回 「新潟の食文化」 編	「新潟県民のコメのおともといえば？」等	10月29日公開済
第3回 「新潟の代表」 編	「新潟出身の有名人といえば？」等	11月19日公開済
第4回 「新潟の観光」 編	「おすすめしたい新潟の風景・絶景は？」等	12月6日公開済
第5回 「新潟の県民性」 編	「新潟の県民性をひと言でいい表すと？」等	本リリース

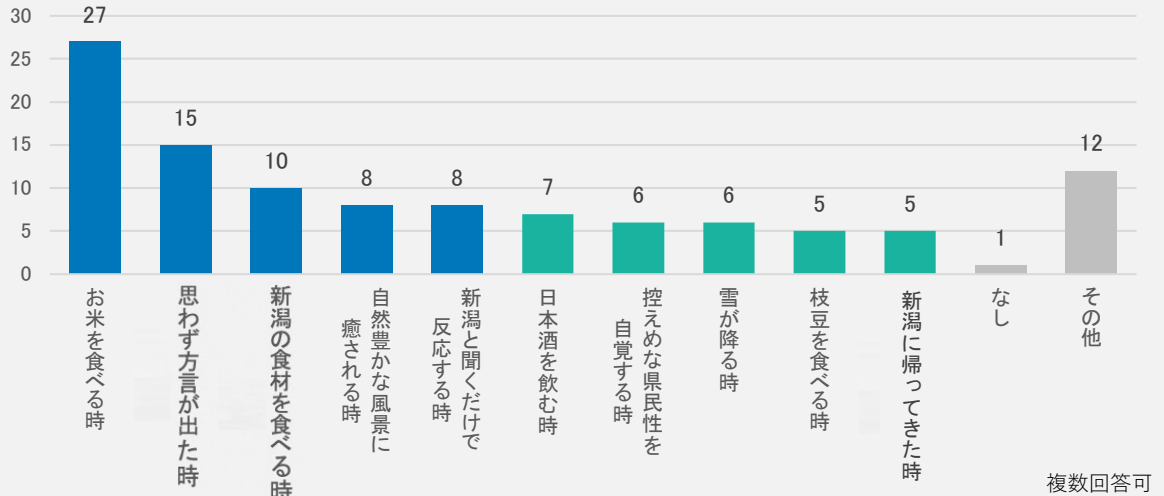
「新潟の県民性」 編 主な調査結果トピックス

- 自分が新潟県民だと思う瞬間は？ という質問では、
「お米を食べる時」という回答が最も多かった
- 新潟の県民性をひと言でいい表すと？ という質問では、
「控えめ」という回答が最も多かった



Q1.自分が新潟県民だと思う瞬間は？

お米や県産食材にアイデンティティを感じる新潟県民！



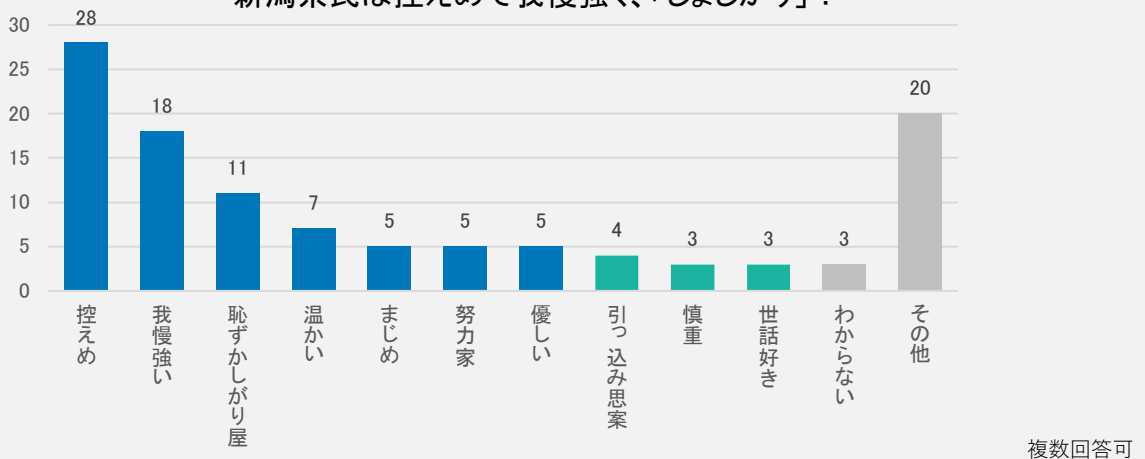
新潟県民は、どんな時にアイデンティティを感じるのでしょうか？1位になったのは、「お米を食べる時」でした。理由には、「新しい米が届くとわくわくする」「おいしいコメの国出身で幸せ」といった、お米が大好きだから！といった声が多数寄せられました。

2位の方言については、「つい使ってしまう」という声が複数ありました。米のおいしさも方言も、新潟県民にとっては当たり前のことが、外に出ると当たり前ではないことに気づく、そんな時にアイデンティティを感じるのかもしれませんが。



Q2. 新潟の県民性をひと言でいい表すと？

新潟県民は控えめで我慢強く、「しよしがり」！



新潟県民は、自分たちの性格をどのように捉えているのでしょうか？本音を聞いてみました。結果、「控えめ」という回答が1位でした。理由として多くあげられていたのが、アピールをしないというもの。これまでの調査(※)でも、食や自然など新潟のいいところへのプライドは持ちつつも、それを県外の人に伝えたり、すすめたりすることがあまりない、という傾向が見えていましたが、自信を持って新潟の魅力を県外にPRすることがやや苦手なのかもしれません。また、3位の「恥ずかしがり屋」では「しよしがり」、「しよし」「しよしがり」という「恥ずかしがり」を意味する新潟の方言によるコメントが多く見られました。

※R1「新潟のイメージ・魅力に関するアンケート調査」

使用データ

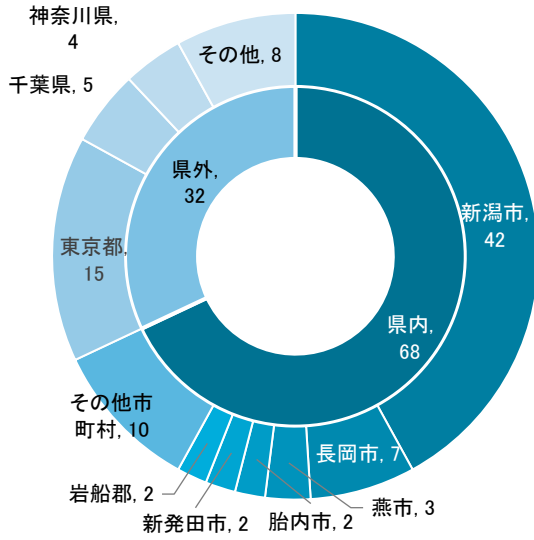
調査対象 新潟県内在住及び新潟県出身者、10代～60代 計100名（有効回答数）

調査期間 2021年7月19日（月）～8月17日（火） 29日間

調査方法 インターネットアンケート

回答者属性 下記のとおり

居住地



年代・性別

